

指標 5.4.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 5.4.1 無償の家事・ケア労働に費やす時間の割合（性別、年齢、場所別）

ターゲット 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

ゴール 5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

定義及び根拠

- 定義
男性と女性による無給の家事及び介護労働に1日に費やされた時間の割合。
- 概念
無給の家事及び介護労働とは、食品の準備、食器洗い、住居の掃除および維持、ペットの世話、買い物、設置、個人および家庭用品の整備および修理、育児、ならびに病気、高齢者または身体障害者の家族の世話を含む活動をいう。
- 根拠及び解釈
 - (1) 個人及び世帯の生活の質または一般的な厚生(Well-being)の尺度を提供する。
 - (2) 無償の家事労働を含む、あらゆる形態の仕事の、より包括的な測定を提供する。
 - (3) ジェンダー平等と女性及び女児の能力強化を監視するためのデータを作成し、政策及びジェンダー平等に関する政治対話のために不可欠なインプットとなる。

データソース及び収集方法

社会生活基本調査

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

無給の家事及び介護労働に費やされた時間の割合（指標 5.4.1）

$$= \frac{\text{家事労働に費やされた1日あたりの総平均時間（週全体）} + \text{介護労働に費やされた1日あたりの総平均時間（週全体）}}{24} \times 100$$

- ・ 総平均…該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均。
- ・ 週全体…次の式により曜日別結果を平均して算出した。

$$\frac{(\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均})}{7}$$

○ コメントと限界

1日の行動を20種類に分類し、時間帯（15分単位）別の行動状況（同時に2種類以上の行動をした場合は、主なもの1つ）を調査している。

データの詳細集計

性別：女性／男性

年齢：15歳以上、15～24歳、25～34歳、35～44歳、45～54歳、55～64歳、65歳以上

参考

社会生活基本調査（用語の解説）

※P13 に家事及び介護労働の内容例示を記載

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/pdf/kaisetua.pdf>

データ提供府省

総務省

関連政策府省

厚生労働省

担当国際機関

国連統計部（UNSD）、国連女性機関（UN Women）